

第30期 事業報告書

自 令和2年10月1日
至 令和3年9月30日

◇事業活動の現況に関する事項

1. 事業の全般的状況及びその成果

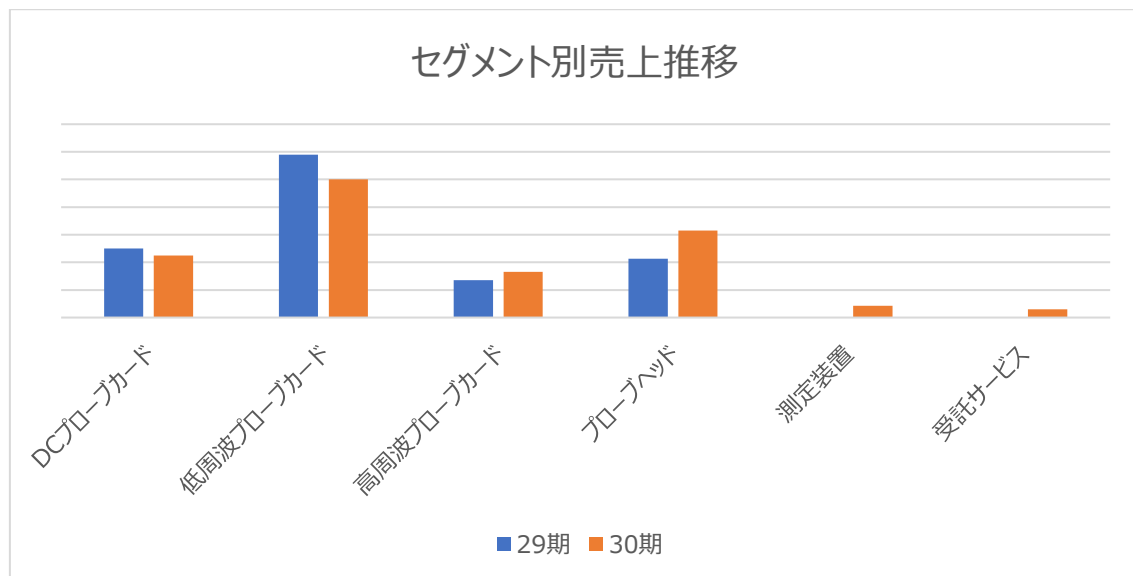
30期売上高前年度比+7%と目標としていた+5%を上回る良い結果となった。29期 から販促に注力してきた高い周波数帯のプローブの販売数が伸びた結果である。

一方で純利益は前期比-1%と微減となった。これは当社の測定装置や受託サービスのビジネスを開始した事により、想定以上の工数や材料費が必要になった事、コロナの影響で当社製品に使う部材費が高騰している事、政府要請に賛同し従業員の給与を増加させた事が要因である。当社が目指す持続的な経営を実践する為には、新規事業を開始する必要と、従業員への労働分配率を上げる必要があるため、31期もこれらを継続して事業を推進する。

2. 売上高状況 売上高(前年度比)

	売上高(前年度比)	純利益(前年度比)
30期(2020/10/1~2021/9/30)	+7%	-1%

【セグメント別売上】 セグメント別売上推移 29期 30期



3. 資金調達状況 30期：新規借入はありません。

4. 設備投資状況 30期：新規導入設備はありません。

5. 従業員の状況（系列会社を含む）

従業員数（内パート従業員数）	前期末比	平均年齢
27名（内5名）	2人増	39.5歳

29期より持続的な経営を遂行する為の若返りを目標として若年者をターゲットとしたリクルートメントを行い、30代前半の新規戦力（2名）を獲得する事に成功した。今後も引き続き若返りを図る為の採用活動を継続する。

2021年11月30日現在